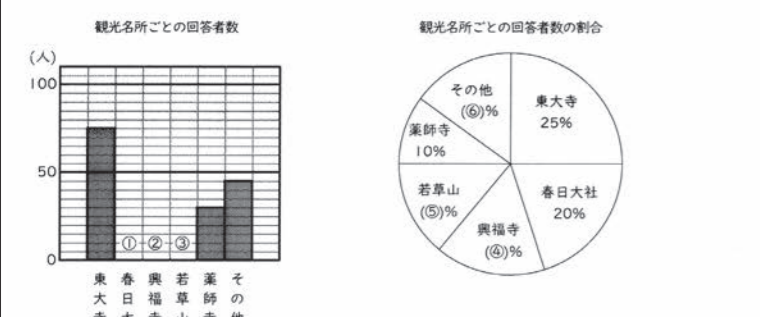




創立70周年記念事業として建て替えられた、新講堂(ICHIJYO HALL 2020)での学校説明会。設計は新国立競技場の設計を手掛けた建築家、隈研吾氏によるもの。新型コロナウイルスへの感染対策がしっかりととられた会場で、真剣に説明を聞く参加者

適性検査Ⅱサンプル問題

本問題のねらい
文章やグラフから、必要な情報や統計的データを読み取る力をみる。
割合の理解や計算力等の、基礎的・基本的な力をみる。
自分の考えを式や文章で的確に表現する力をみる。



- (1) 興福寺と回答した人数と若草山と回答した人数の比は、8:7でした。興福寺と回答した人数と若草山と回答した人数をそれぞれ求めなさい。また、その求め方も説明しなさい。
(2) 「その他」の内容をまとめて次のようになりしました。□にあてはまる数を求めなさい。また、その求め方も説明しなさい。

Table with 4 columns (A, B, C, D) and 4 rows (ア, イ, ウ, オ) showing survey results for '観光名所' (tourist spots) in a primary school.

参加者の感想
子ども
・中高一貫で教育を受けられるからよい
・高校入学時点で入試がないからよい
・授業時間が45分で授業時数が多い
・未来に向けて希望が持てる
・友達と一緒に考えたり勉強したりできるからよいと思う
※保護者
・探究心を持ち、何にでも興味を持って自分のやりたいことを見つけてほしい
・グローバル社会に出るための学びを得られると思う
・これからの大学入試や変化に対応できると思う
・従来の勉強だけでなくその先の社会を見据えている
・まだ決まっていなくても多いようなので、次回の説明を聞いてから決めたい
・どんな先生が関わってくれるのかを知りたい
・まだ4年生なので今後の説明会を見て見極めたい
・6年間ずっと同じ顔触れで独自の教育を受けるところに不安がある

奈良市立一条高等学校附属中学校 令和4年4月に開校
どんな社会の中でも自立して生きていくことができる人間の育成を
一条高等学校附属中学校を併設型中高一貫校として令和4年4月に開校するにあたり、3月27日(土)、28日(日)に一条高等学校にて第2回学校説明会が開催されました。両日とも午前・午後に分かれて計4回行われた説明会には多くの親子連れが参加しました。



発行人 尾形裕明
奈良市PTA連合会
奈良市三条本町1-80
TEL 35-6388
編集 市P連広報委員会
印刷所 エムエーグラフィック

CONTENTS

- 1P 奈良市立一条高等学校附属中学校説明会 取材
コラム《万華鏡》はお休みさせていただきます
2P・3P ならまち周辺「人権スポット紹介」
4P 園児・児童・生徒24時間総合保障制度
子育て・エトセトラ
編集後記

れ替える等、6年間を通して系統的に学習ができることです。二つ目は、高校入学時の入学者選抜を行わないため、入試の影響を受けず、体験活動や探究的な学習の時間を確保し、自分の好きなことを、とことん学ぶことができることです。三つ目は、中学校一年生から高校三年生までの異なる年齢でグループを組み、活動を行うことができることです。
附属中学校の教育の目的として『アクティブシンティンズであり、自由に生きることができ、個人』の育成』があげられています。



では適正検査について詳しい説明があります。
○適性検査Ⅰ(文章や資料を読み解き、課題を整理して適切に表現する力や、自らの考えを事実にもとづいて表現する力を測る)
○適性検査Ⅱ(身近な自然現象やグラフ、図、データ等を分析し考察する力や、課題解決に向けて論理的に思考・判断し表現する力を測る)
次回説明会は令和3年7月に予定されています。詳しい情報は奈良市教育委員会のウェブページをご覧ください。

奈良市PTA連合会「園児・児童・生徒24時間総合保障制度」
子ども総合保険
24時間、お子さまの「万が一」に安心でお答えします!
申込締切 5/14(金) 申込は簡単! スマホ・PCから

奈良県自転車条例
(奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例)
自転車保険への加入が義務となりました。
2020年4月1日からは自転車保険に加入しなければなりません!



自転車歩行者にケガを負わせた(賠償責任)
Sプランは賠償責任補償が無制限(国内)

- ★賠償責任は同居家族全員対象(生計を共にする未婚のお子さまは別居でも可)
★賠償責任は国内外OK! 『示談交渉サービス』も付帯されて安心!
★Sプランでは高額賠償に備えて賠償責任が無制限に
★通院補償を手厚く充実!
★事故手続きは電話1本でOK! (10万円以下の補償には診断書が不要)
★天災危険補償特約付帯で安心

Insurance plan table with columns for plan type (S, A, B, C, D), premium, and coverage details for personal liability, death, hospitalization, and surgery.

天災危険補償特約を付帯!
Illustrations showing disaster damage and heatstroke, with text explaining the benefits of the special insurance.

子育て・エトセトラ
子どもが、携帯の学校持ち込みについてのお手紙
持っていく必要ある?
・小学校はツイタももんもあるし、学校は下校時間の変更とかもママに連絡してくれるから、携帯はいらないかな。
・うちは友達と別れてから一人で歩く距離が結構あるから、学校に相談して一年生の時からキッズ携帯持たせてねん。
・低学年が一人で歩くのは心配やもんね。
・うちの子は中学生なんだけど、部活の後、直接塾に行くときは、持って行ってくれど安心かも。
・うちは携帯持たせてないねんけど、そうやってみんなが持ってるようになったら、欲しがってるよ。
・娘のまわりで、こっそり学校に携帯持ってきてる子が何人もいるみたいで、娘も持ってきてきたがってる。
・うちも持っていくがたがるけど、学校近しいしやらんやろって話してるよ。
・▼▼▼
・▼▼▼
・▼▼▼



興福寺『薪御能』
(たきぎおのう)

興福寺南大門と『薪御能』

毎年5月11日・12日の両日開催される『薪御能』は、869年に始まったという興福寺の修二会に附随した行事でした。室町時代当時から、この『薪御能』に参勤したのが大和猿楽四座で『薪猿楽』は春日若宮祭とともに南都両神事と呼ばれ四座は必ず出勤すべき重要な行事でした。それは、『薪能』が大和に勢力をふるった興福寺の修二会の一環であり、猿楽座も興福寺の支配を受けていたことによります。これら猿楽座の演能集団は被差別の立場にあった人々であり、大和の寺社の祭礼で翁猿楽を演じていたと考えられます。興福寺南大門跡前の『般若の芝』と呼ばれる舞台が大和猿楽四座の共演の場でした。

菩提院大御堂(三作石子詰め伝承地)

奈良の鹿を春日明神の使いとする信仰は、平安時代からあったようです。特に興福寺の力が強まるにつれて、この鹿は『神鹿』として手厚く保護されました。『神鹿』を殺したり傷つけたりしたら、興福寺の検断権(けんだんけん)が行使され、重いときは死罪とされました。「三作」と呼ばれる子どもが、誤って鹿を死なせてしまい、鹿の死体と抱き合わされ石を詰めて処刑されたという『三作石子詰め』の伝説は、こうした考えを背景として作られたものです。江戸期元禄時代には、近松門左衛門がこの伝説をもとに浄瑠璃「十三鐘」を生み出しています。

ならまち周辺

人権スポット紹介

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、例年大勢の会員の皆様に参加していただいていた『人権教育研修会』を開催することができませんでした。

今回紹介するならまち周辺の人権スポットは、過去の『人権教育研修会』で、古市歴史研究会の方々の協力を得て、『ならまち人権スポット探索』として開催したフィールドワークの資料と、奈良市人権啓発課発行の『なら じんけん まっぷ I・II』を基にしたものです。

コロナ禍で、行動が制限される中、密を避け、歴史ある奈良の人権スポットをお子さまと散策してみるのはいかがでしょうか。

十念寺と北・南風呂町

北風呂・南風呂町の地名の由来には諸説がありますが、かつて風呂は病気を治すための社会福祉施設であり、隣接する南城戸町には悲田院があることや、鎌倉時代に貧民救済につとめた僧忍性の創建という伝説が残る十念寺が存在することなどから、病人救済用の風呂が存在したことが考えられます。その十念寺には今も、忍性の供養塔と伝えられる五輪塔が残っています。

阿弥陀寺・悲田院

悲田とは、身寄りのない病人や捨子を哀れみ供養すれば福が得られるとする仏教の福田思想に基づく八福田の一つで、悲田院は、貧窮孤独の人々を救う施設のことをいいます。奈良時代に興福寺に創建されたのが最初で、国家によって作られた福祉施設といえます。平安時代に悲田院の国家経営が行き詰まり、収容されている人たちに給与を与え、河原(当時は墓所・葬地)で死体の片づけなどの清掃をさせるようになります。この穢れの『清め』の仕事と関連するのかもしれませんが、江戸時代以降、悲田院は西日本、特に畿内で被差別部落の問題と深いかわりを持っていきます。阿弥陀寺の悲田院は、中興の尊阿古山上人が悲田院跡と呼ばれる土地に居住し堂を建てたという言い伝えから、1995年に再建されたものです。

称念寺(遊女の墓)

この界隈にあった木辻遊郭は、慶長年間、数軒の遊女屋が開業していたことに始まると伝えられています。一時衰退しましたが、17世紀末頃再び盛況となり、井原西鶴の『好色一代男』の“ここそ名にふれし木辻町”と記されるように、諸国に知られるようになりました。女性の性の売買は、社会秩序を守るための必要悪として、公権力によって管理され、その形態は1958年の「売春防止法」まで続きます。

称念寺は、遊女が亡くなった際に引き受けるお寺(引導寺)だったとも言われており、境内にある無縁仏の中にも木辻遊郭に關係する墓標があると考えられています。

大乘院庭園

大乘院は、一乗院とともに興福寺の門跡寺院として、平安時代から室町時代にかけて栄えた寺院です。鎌倉時代に元興寺の子院である禅定院に移されました。この禅定院には平安時代に築造された庭があり、15世紀末に大乘院の門跡であった尋尊(じんそん)が当時の庭師の第一人者であった善阿弥(ぜんあみ)に依頼し、改造したと伝えられています。善阿弥が関与した庭園遺構として大変貴重な庭がこの大乘院庭園です。

中世の奈良や京都の文化形成に、被差別民衆は大きな役割をはたしました。当時名園といわれた多くの庭園は山水河原者(せんずいかわらもの)とよばれて被差別の人々の手によって作庭されたもので、中でも善阿弥は天下第一と言われていました。

影向の松

『おん祭』が始まるのは春日若宮社の創建をうけた1136年9月17日のことです。毎年12月17日を中心に催れるおん祭は五穀豊穰、国民安寧を祈願して行われます。影向の松は本祭礼の松の下式が行われる場所で、古くは当時の被差別の立場の人々も渡御行列の先頭に立ち行列を穢れから守る役割や、舞楽に使われるだ太鼓の皮張りの細工人などとして祭を支えていました。

天神社

興福寺の子院のひとつ大乘院家の氏神であった天神社(天満社)の小五月会という鎌倉地代から続く祭礼の費用負担をさせられていたのは奈良の町々でした。これまで小五月会はその町々の人々の祭礼とされてきましたが、実際には興福寺・大乘院・春日大社等、当時の奈良の町々を支配していた人々の祭礼であったのです。中世奈良の人々は支配被支配の関係の中で支配者の祭礼費用まで押し付けられていたのです。

時を経て、今や近隣31市町村約800戸の氏子たちによって大切に祀られています。



大乘院庭園

奈良市には今回紹介した人権スポット以外にもたくさんのスポットがあります。参考にさせていただいた『なら じんけん まっぷ I・II』は奈良市ホームページでご覧になれます。



じんけんまっぷ I



じんけんまっぷ II

発行：奈良市人権啓発課
監修：古市歴史研究会